

私たちの リカバリー

専門家が語る回復する人としての物語

2026 **7.26** sun

開場 12:30 講演 13:00

場所 大阪大学人間科学研究科本館51講義室(キャノピーホール)

主催 大阪大学大学院人間科学研究科「哲学と質的研究」研究室

協力 NPO法人Goodwill、じゃがじゃがプロジェクト



定員

50名

参加費無料

使用言語: 日本語

メンタルケア専門職もまた、傷つきやすい生身の人間です。
互いに手当をしながら、安心してケアにたずさわっていただけるために、
どんな工夫が可能でしょうか。

皆様とご一緒に考える機会になればうれしいです



自分自身に帰る旅～
ルーツからつながるリカバリー

ケン タナカ

オランダ精神科医
NPO法人Goodwill 代表



講演
第1部

この10年間、日本において精神保健医療の分野でスティグマの軽減とリカバリーの促進に取り組んできました。専門職、当事者、ご家族との出会いを通して、知識だけでなく、人間らしさや希望を分かち合う大切さを学びました。

講演では、私自身のリカバリーの経験と、そこから得た学びが現在の実践にどのようにつながっているかをお話しします。リカバリーは対話から始まり、立場を超えて互いに向き合うことで深まります。支援は一方向ではなく、共に影響し合い、学び合うプロセスです。本発表が共に語り、学び、癒しへと向かう時間となれば幸いです。



自分自身に帰る旅～
オランダのピア専門家と
出逢って

大野 美子

大阪大学大学院人間科学研究科
博士後期課程(哲学と質的研究)
精神保健福祉士/社会福祉士/公認心理師



講演
第2部

私のリカバリーはある時期まで、社会復帰や社会適応を意味していました。メンタル不調の経験をひた隠しにし、鎧を着て必死に他者を支援しました。これからは自分自身に適応したい。そんな新しい道行きで私はケンさんと出逢い、「傷ついた柔らかい心のままで手当てしながら生きていけばいい。僕もそうしてきましたよ。」というメッセージを受け取りました。

ケンさんのご紹介で私はRené Keetさん(精神科医・EUCOMS代表)を訪ね、GGZ-NHN(北ホラント州北部の精神保健サービス)視察の機会に恵まれました。オンライン支援やピア専門家の活用に早くから取り組んできたGGZ-NHNの実践と、ピア専門家と出逢って感じた想いをお話しします。

講演の他にも、質疑応答や二人のセッション時間などもございますので、お楽しみに!

講演詳細

日時 2026年7月26日 日曜日 13時～16時

場所 大阪府吹田市山田丘1番2号
大阪大学人間科学研究科本館51講義室
(キャノピーホール)

連絡先 yoshiko.syl@gmail.com (大野)



参加お申し込み方法

ピーティックスよりお申し込み受付中/
スマートフォンで右のQRコードを読み取り
または以下のURLより、ピーティックスで
参加お申し込みをお願い致します。

<https://peatix.com/group/16549191>

